

小中校にバスケットボール寄贈



奥野製薬「強くなつて」

奥野製薬工業（大阪市中央区、奥野直希社長）は、同社放出口場がある大阪市鶴見区内の全小中学校にバスケットボールを寄贈した。同社がプレミアムパー

トナーとなつてゐるプロバスケットボールBリーグの大阪エヴェッサが、チームや奥野製薬工業のロゴが入った44個のボールを12小学校、5中学校に寄贈した。授業や部活動での活用を想定する。

大阪市立今津中学校で行つた贈呈式（写真）で、奥野社長は「（チームプレイを通して）生徒皆が人間として強くなつてもらいたい」と述べ、参列したバスケット部員とバスケットボールなどの話に花を咲かせた。今津中の阿久津弘治校長は「地域の方の支えがあつて成長できているということを生徒に実感してもらふいい機会になつた」と感謝の意を示した。